

<活動内容>

1. スムーズな競技会準備と競技運営

- ・円滑な競技会運営の実施のために、大会開催競技場の施設・用器具の点検、関係部署とコミュニケーションを密にとり、競技環境、タイムテーブルに応じた適切な対応をとり、円滑な競技運営を行う。
 - ゴールデンゲームズ、関東選手権の2大競技会をはじめ、どの競技会でも事前の準備、他部署との連携はできたと思う。引き続きこの体制を続けていきたい。
- ・部品の紛失防止、次回の競技場利用の際に、円滑な準備ができるよう、片付け・撤収も丁寧に適切に行う。
 - 関東選手権で備品管理が周知徹底できない部分があったので改善が必要である。
- ・主管する駅伝競技では、事故やトラブル防止のために、コースや適切な備品配置の確認を行う。
 - 新コースとなったかながわ駅伝では、昨年度の準備に加え、再点検をしてより改善したコース管理ができた。

2. 積極的な研修とルールの熟知

- ・競技会ごとにルールの確認はしたが、実技研修などの参加機会は少なかった。
次年度そのような機会があれば積極的に参加するとともに、周囲への参加を促したい。

3. 県内各競技場の施設、用器具の管理徹底

- ・令和5年度は多くの競技場が、公認継続申請を受けた。競技場によっては不備のある箇所もあるので担当者と連絡を取り合い、事故のない運営ができるようサポートしていきたい。